

2021年8月5日

## テニスの更なる振興に向け日本テニス協会と協定を締結 ～【国内初】全仏オープン会場と同仕様に屋外型テニスコートをレッドクレー化～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、2021年8月5日、公益財団法人日本テニス協会(会長:山西 健一郎、以下「JTA」)と相互共創協定を締結しました。当社は第一生命相模園テニスコート(以下当社テニスコート)をレッドクレー化<sup>1</sup>し、JTAと共にテニスの振興に向け更なる相互連携を推進していきます。

当社は、社会貢献取組方針<sup>2</sup>で中心テーマに掲げる「豊かな次世代社会の創造」に向け、JTAが主催する「全国小学生テニス選手権大会」へ1983年の第1回大会より特別協賛するとともに、当社テニスコートを大会会場として提供してきました。本大会は世界で活躍する錦織圭選手や土居美咲選手などを輩出し、プロテニス選手を目指すテニス少年・少女の甲子園とも言われています。

今回、「世界に通用する選手育成のためにはジュニアからの強化が重要である」というJTAの趣旨に賛同し、次世代テニス選手の強化・育成の推進に向け両者で協定を結ぶとともに、世界で活躍する次世代テニス選手の育成を後押しするため、当社は、2022年3月を目途に、当社テニスコートを屋外型として国内初の全仏オープン会場ローランギャロス仕様へのレッドクレー化を行います。

レッドクレー化を通じ、両者は「次世代テニス選手の強化・育成に向けた取組み」「第一生命全国小学生テニス選手権大会の更なるブランド化に向けた取組み」「テニスの普及と地域住民のQOL向上に向けた取組み」を進めています。

### <両者の連携事項>

- (1) 次世代テニス選手の強化・育成に向けた取組み
- (2) 第一生命全国小学生テニス選手権大会の更なるブランド化に向けた取組み
- (3) テニスの普及と地域住民のQOL向上に向けた取組み

当社は、地域住民の健康増進や地域活性化などを通じたQOL向上をコンセプトに、第一生命グラウンドを活用したまちづくり<sup>3</sup>を進めており、イベント開催時などに地域住民の方が利用できる場としての活用を予定しています。

一人ひとりの価値観が多様化する今、お客さまの日々の暮らしや人生を豊かにするためにこれまで以上に寄り添い、「安心の先にある幸せへ。」というビジョンの下、生命保険の枠を超えて人々のQOL向上に貢献していきます。

<sup>1</sup> 世界最高峰のテニス大会のひとつ、全仏オープンに採用されているサーフェイス。クレー舗装の一種で表層の材料は天然土ではなく人工土。球足が速く、また、ボールが跳ねることで、テニス戦術の向上、メンタルタフネスの効能が期待できる。ヨーロッパの多くのジュニアはレッドクレーコート環境で育っている。

<sup>2</sup> 詳細は「<http://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/basic.html>」をご覧ください。

<sup>3</sup> 詳細は「[https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2019\\_063.pdf](https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2019_063.pdf)」をご覧ください。

## 協定に基づく主な取組事項

(協議・検討中の事項も含む)

連携事項	主な取組事項
次世代テニス選手の強化・育成支援に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第一生命相娯園テニスコートの屋外型として国内初の全仏オープン会場ローランギャロス仕様のレッドクレー化<sup>4</sup>により、国内でも珍しい練習環境を整備し、世界での活躍に向けたジュニア選手のトレーニングセンターやナショナルチーム関連メンバーの強化・育成拠点として活用する。</li> <li>◆ 次世代テニス選手の活躍の場を広げるべく、日本テニスの中長期戦略プラン及び JTA がフランステニス連盟との間で締結している協力覚書で謳われている施策の具体化事業として、第一生命相娯園テニスコートにテニスの国際大会等の誘致を行う。</li> </ul>
第一生命全国小学生テニス選手権大会の更なるブランド化に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第一生命相娯園テニスコートのレッドクレー化を通じたジュニアテニス大会のブランド化に向け、本施設を活用し当大会を開催する。</li> <li>◆ 当大会のより一層の活性化に向け、全国地区予選大会において、第一生命各拠点による盛り上げ施策を展開し、全国規模でのジュニア育成に向け共創する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
テニスの普及と地域住民のQOL向上に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第一生命相娯園テニスコートにおいて「TENNIS PLAY&amp;STAY(※1)」や「テニピン(※2)」等の初心者向け(親子参加型や健康増進を目的としたシニア向け含む)のテニスイベント、クリニック等を共同開催し、地域住民のQOL 向上とテニスの更なる普及に向け共創する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(※1) TENNIS PLAY&amp;STAY 通常よりも速度の遅いボール、短いラケット、小さいコートを使用することで誰でも簡単にラリーをすることができ、ラケットを持ったその日からテニスを楽しむことができるプログラム</p> <p>(※2) テニピン ハンドラケットを使用した「TENNIS PLAY&amp;STAY」の子ども向けプログラム</p>

<sup>4</sup> 国内では、全仏オープンと同仕様のサーフェイスは、ナショナルトレーニングセンター(北区・赤羽)にある屋内型テニスコートの2面のみ。

【参考】

【まちづくりのイメージ】



地域住民の QOL (Quality of Life) を高めるまちづくり



【施設概要(所在: 東京都世田谷区給田1-1-1)】

